

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

執筆 編集 発行  
碧南市特別支援教育推進活動委員会  
啓発活動部

# さ さ え あ い

## 第60号



碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の交流活動や昨年度、中学校を卒業した生徒の進路先などを紹介します。

### 楽しかったよ 交流会

中央小学校

中央小学校では、毎年、中央中学校と交流会を行っています。中央中学校の生徒は、そのほとんどが中央小学校の卒業生ということで、子どもたちは、大好きなお兄さんやお姉さんたちに会えるのを楽しみにしています。

久しぶりに会うお兄さんやお姉さんは、中学校の制服を着て、ぐっと大人っぽく見えました。自己紹介をした後、グループに分かれてゲームをしたり、封筒を作ったりしました。「内側の紙は、何色がいいかな?」「好きなシールを選んでいいよ。」優しく教えてもらいながら、どの子も素敵な封筒を完成させることができました。

中学生の細やかな心配りや堂々とした姿に、子どもたちは憧れを抱いたようです。楽しい時間を過ごすことができました。



(素敵な封筒ができました)

### 碧南市特別支援教育講演会

「わかりやすく教える技術  
—教わる姿勢を身につけるために必要な技術と考え方—」

- ◎講師：たかはま障がい者支援センター  
総合コーディネーター 小松邦明 先生
- ◎日時：平成28年7月24日(日) 午後2時～
- ◎場所：碧南市文化会館



(小松邦明先生)

碧南市特別支援教育推進活動委員会では、毎年、市内の小中学校の保護者・教員・学校関係者の方々に特別支援教育の理解を深めていただくために、講演会を行っています。

今年度の講師の小松先生は、雇用支援業務のジョブコーチとして、また、NPO法人ジョブコーチ・ネットワークの理事としても活躍してみえます。小松先生から地域で働くことを通じて生活するために必要な5つのポイントと13の考え方についてお話をいただきました。

「将来を見据えて、今必要なことをする」「できないと決めつけずに、できないことをできるようにする方法を考える」「学校や家庭では教わる姿勢を身につけておく」など、教師や保護者にとって大切なことをたくさん教えていただきました。

お話の中で、わかりやすく教えるための技術について、参加者の方にもいろいろな体験をしていただきました。言葉だけの指示で相手にも同じ図をかいてもらう体験では、言葉だけで教える難しさを体感していただくことができました。また、作業の仕方を伝える場面では、「言語指示」「ジェスチャー」「モデリング」「手添え」の4つの手がかりを使い分けて教える方法を学びました。相手の気持ちを考え相手が理解できる最小の介入で教えることの大切さが分かりました。今回、小松先生にご講演いただいたことを、これからの子どもたちの支援に役立てていきたいと思えます。

(棚尾小学校 啓発係)

### 中学卒業後の進路

【市内中学校特別支援学級生徒の進路】

		27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度
特別支援学校	安城特別支援学校	5	3	3	5	9	9		5
	半田特別支援学校桃花校舎	2			1			2	
	豊田高等特別支援学校	1	3	4	4	2		2	2
職業訓練校		2	1			1	2		2
公立高校		1							
専修学校		3				1	1		
各種学校				1	1	1			
家事従事		2		1	1				

平成27年度、碧南市内の特別支援学級を卒業した生徒16名の進路は上の表のとおりです。

安城特別支援学校の高等部の学校見学会は、これまで中学3年生の生徒のみでしたが、昨年度からは中学2年生の生徒も参加できるようになりました。現在、中学1年生のみなさんは、来年度ぜひ参加してください。中学3年生の1学期の時点で、受験する学校が決まっているといいですね。安城特別支援学校の高等部の先生からは、中学生のうちに、いろいろなことにチャレンジしてくださいと話がありました。へきなん広報に掲載されている催し等に、積極的に参加してみるのもよいですね。そうしたことを通して、家庭の中、地域の中で明るいあいさつや受け答えが少しずつ身についていくとよいです。

進路について考えることは、早いほどよいと言われています。中学校は、3年間しかありませんので、小学校の段階から、進路について家庭や学校で話し合いをもつことをおすすめします。

(新川小学校 啓発係)



### 子どもの健やかな成長発達のために

子どもの成長・発達、個々に違います。発達の順序は変わらないですが、子どもを取り巻く環境などに左右され、一直線に成長するものではなく、ある時期は急速に、ある時期は停滞することもあります。

子どもの順調な発達を促すためには、基本的な生活習慣を身につけ、身体の健康を維持することが大切です。基本的な生活習慣とは、食事・着脱衣・清潔・排泄・睡眠があげられます。

この規則正しい基本的な生活習慣は、年齢が大きくなり成長すれば自然に身につくことではありません。家庭での日々の生活の中で、「見て聞いて」を繰り返すことで身につけていきます。中には、「見て聞いて」が苦手な子もいます。その場合、生活習慣を身につけることに時間がかかるでしょう。子どもの特徴、苦手なことなどを知っておくことで、保護者の皆さんもいらいらせずに見守りながら対応することができるのではないのでしょうか。乳幼児期に、基本的な生活習慣を身につけ、子どもが順調に発達できる基礎をつくりましょう。

また、子どもの成長発達を一緒に確認し、今後の子どもの健やかな成長発達を促すための対応を考える機会として乳幼児健診を受けましょう。

一人で悩まず、頑張りすぎず、自分の子に合った対応で、楽しく子育てをしましょう。

(健康課 母子保健係)

